iVMS-4200　簡易説明資料

■構成

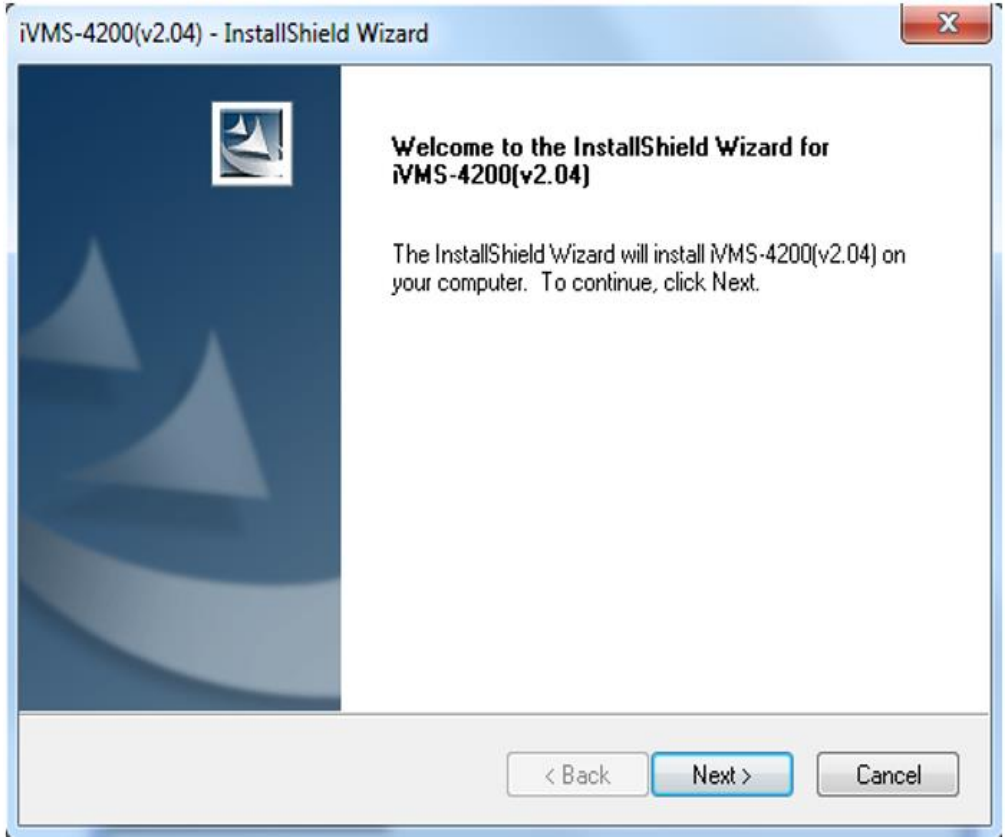
1. インストール
2. ユーザー登録
3. コントロールパネル
4. デバイスの追加
5. ライブビュー
6. リモート再生
7. ストレージスケジュール
8. ソフト概要
9. システム構成
10. システム要件

1. インストール

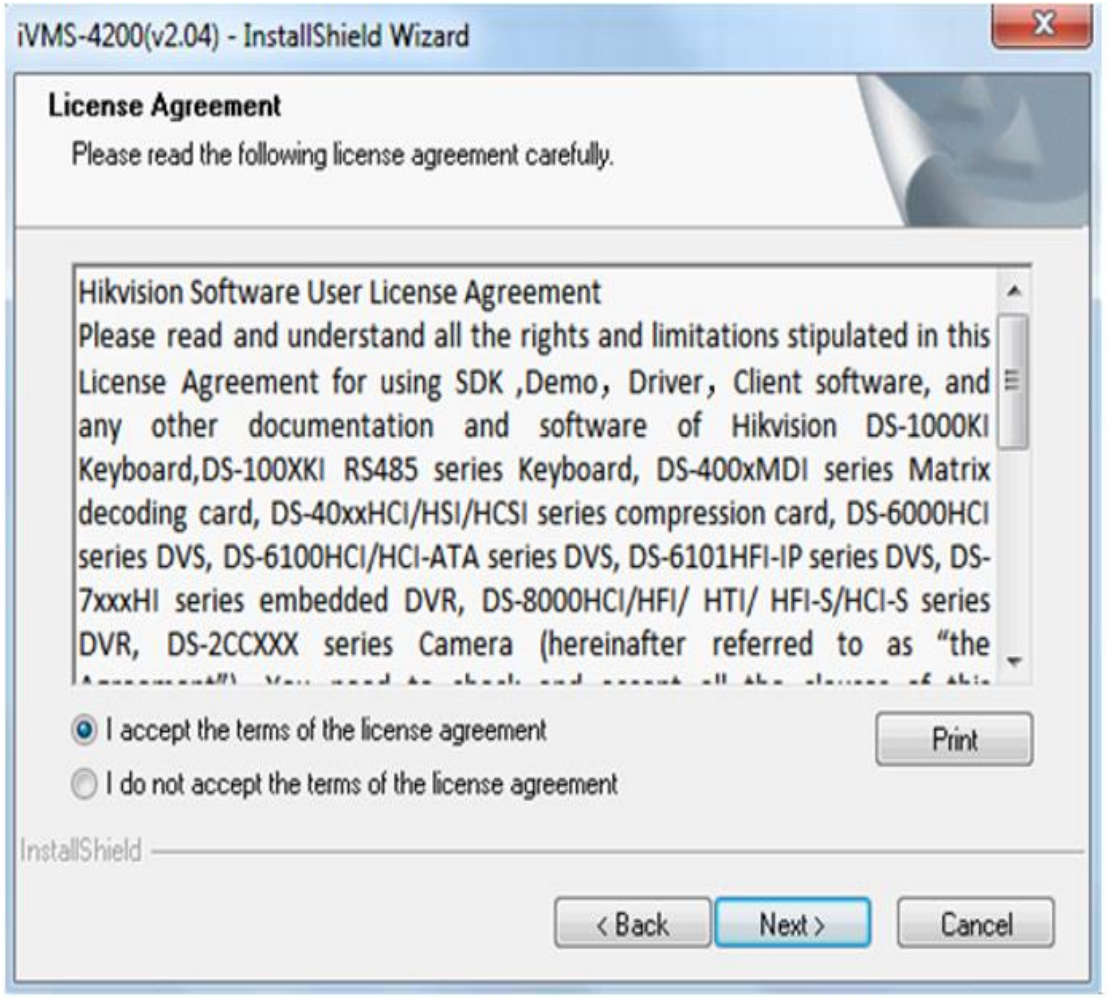
適切なコンピュータにインストールメディアを挿入します。

次の手順を実行して、iVMS-4200 クライアントソフトウェアをインストールします。

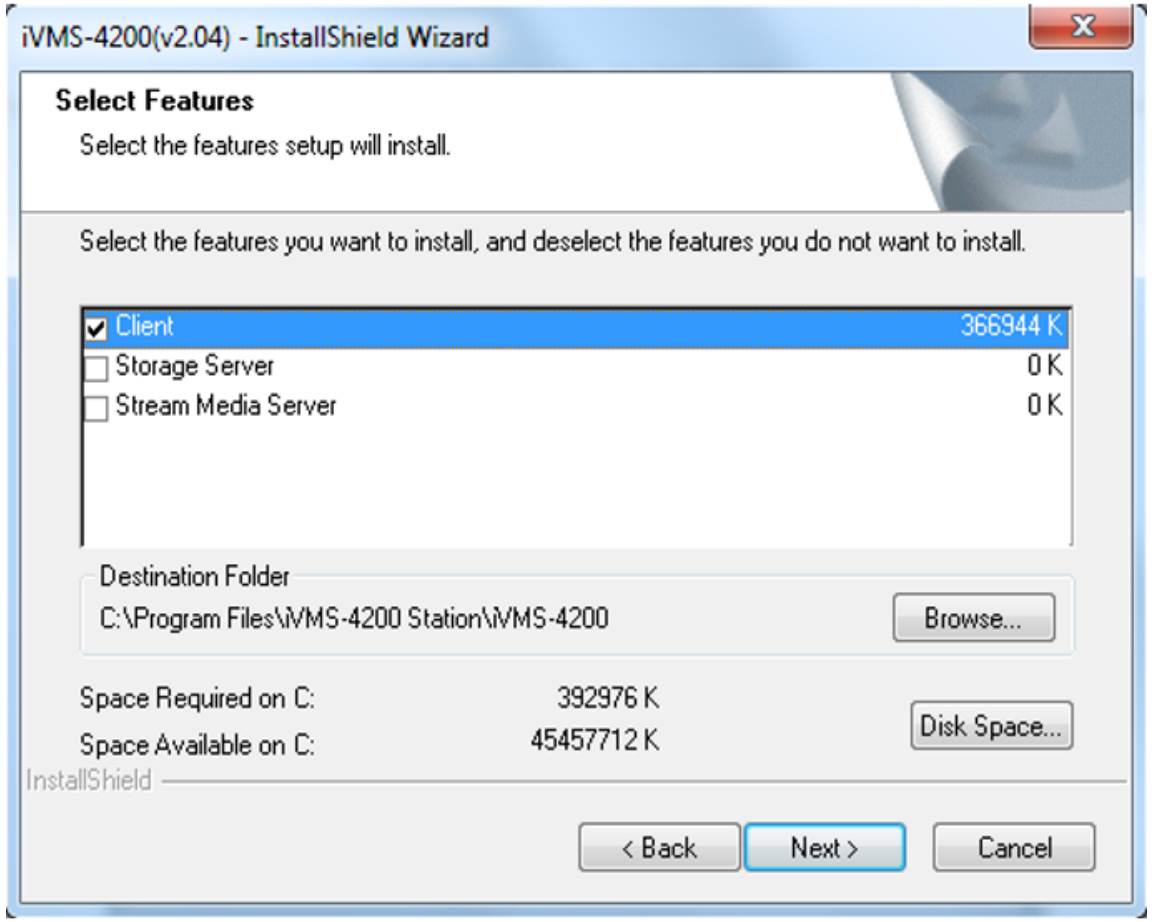
プログラムファイルをダブルクリックして、InstallShield ウィザードの[ようこそ]画面に入ります。[次へ]ボタンをクリックし、InstallShield ウィザードを開始します



ライセンス契約を読みます。



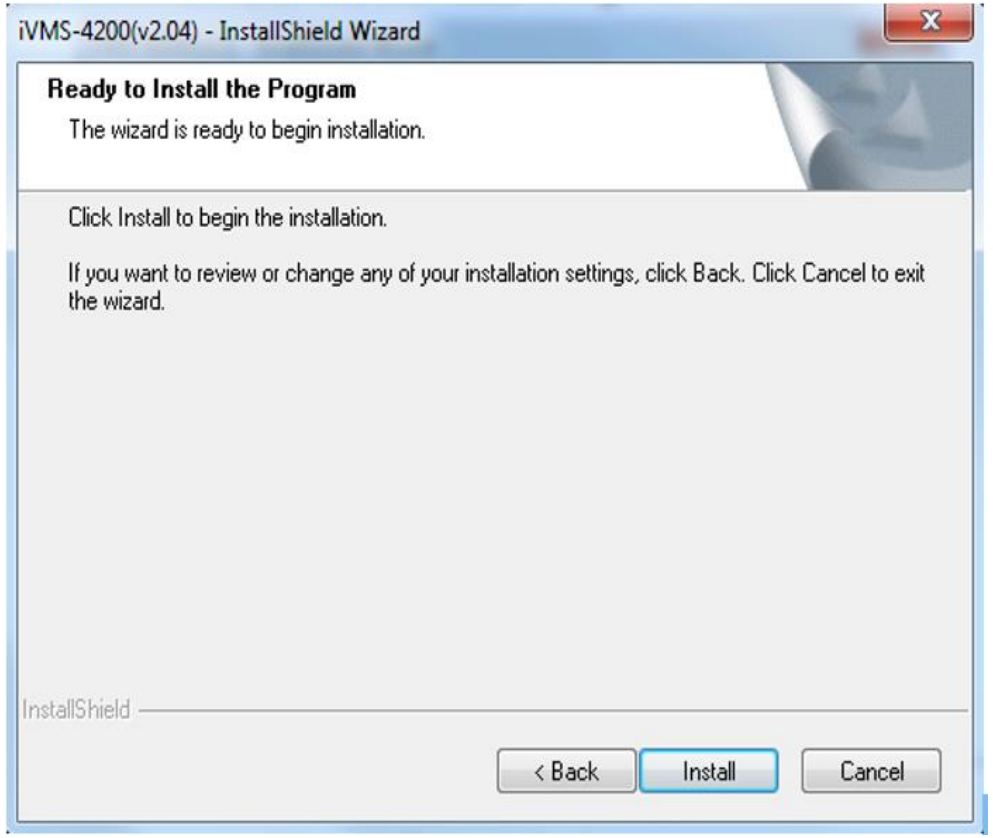
インストールする機能モジュールを選択するよう求められます。



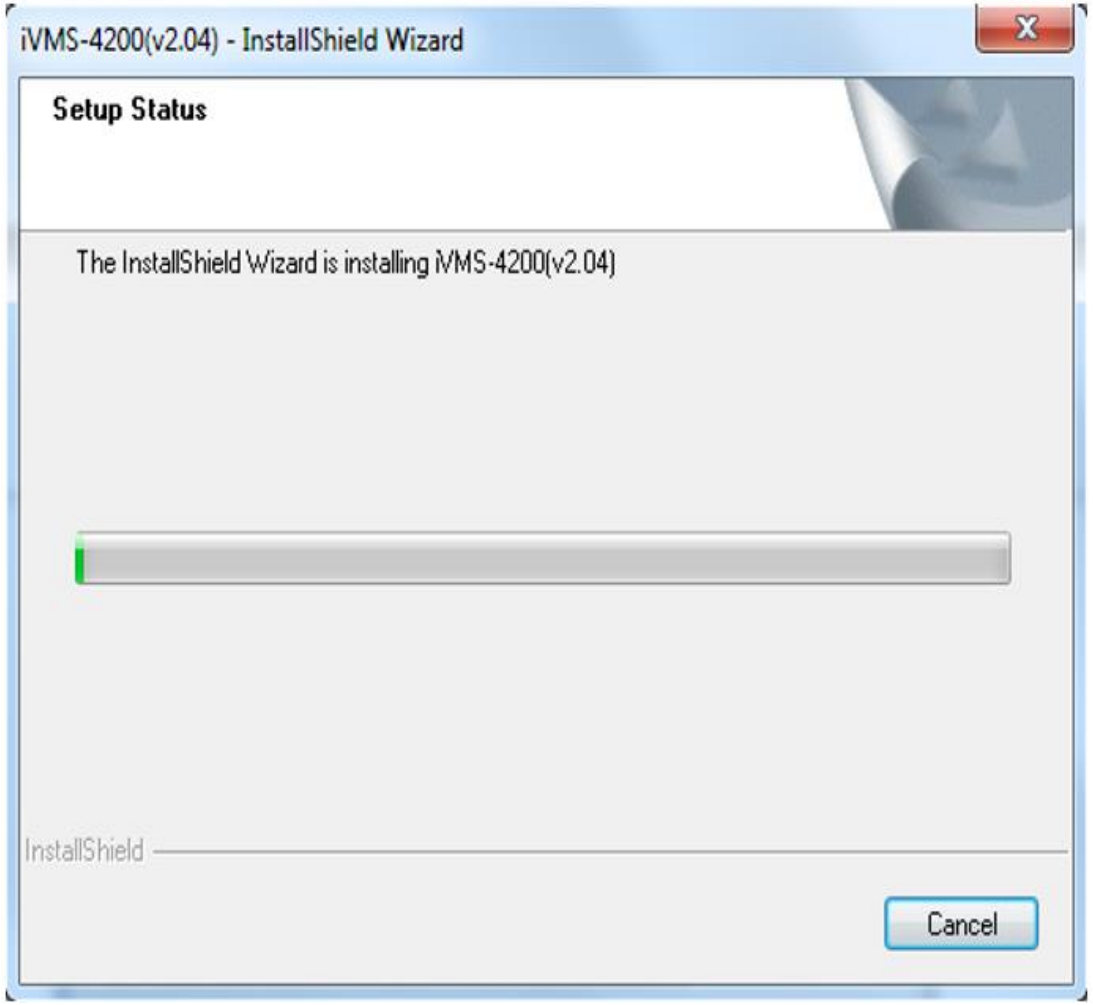
ストレージサーバ:ストレージサーバはPCにインストールされたNVR として動作し、
ス トレージサーバにビデオファイルを保存することができます。

ストリームメディアサーバ:ストリームメディアサーバを利用してビデオストリームを転送し、
デバイスのネットワーク負荷を下げることができます。

インストール事前情報を読み、[インストール]ボタンをクリックしてインストールを開始 します。



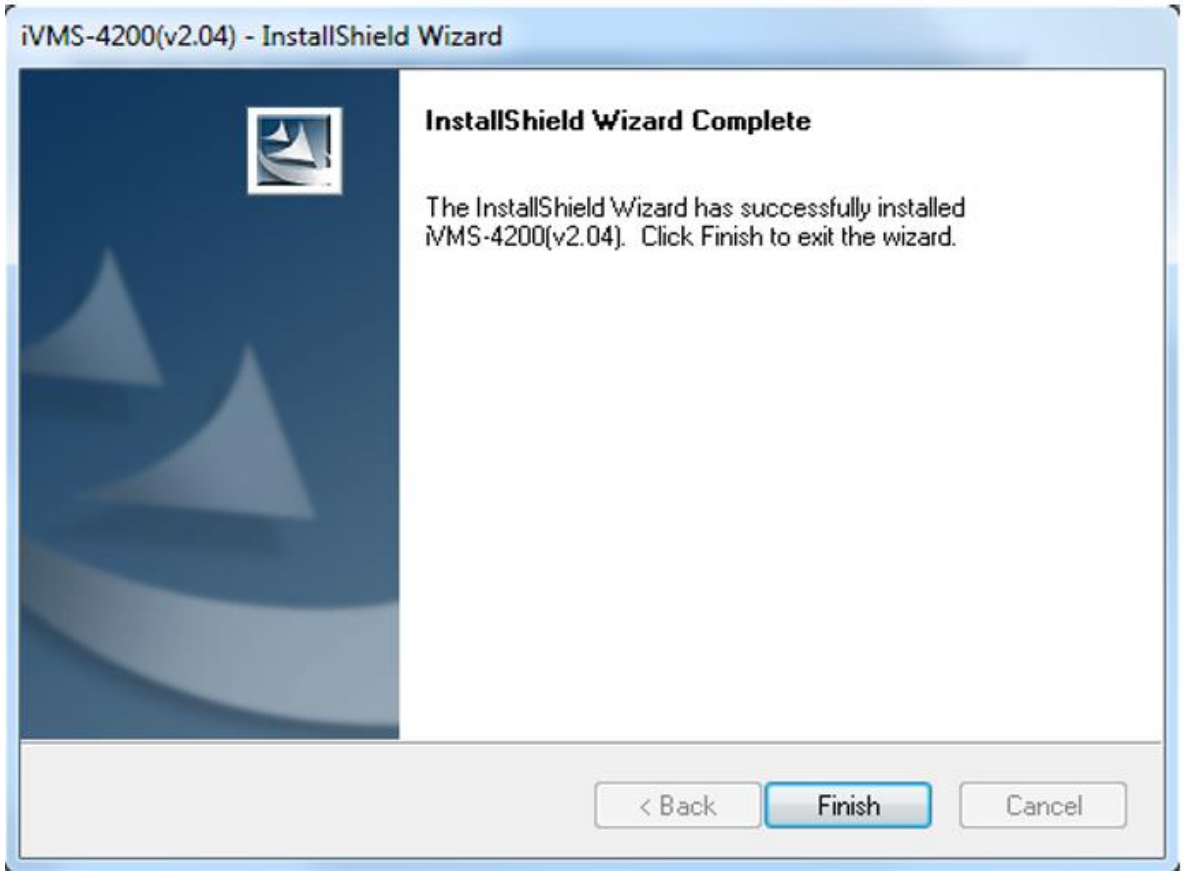
インストールの進行状況を示すパネルが表示されます。
インストールの進行にしたがって完了パーセンテージバーが更新されます。



必要に応じてセットアップ種別を選択します。

[クライアントのデスクトップアイコンを作成する]チェックボックスをチェックして、
デスクトップにクライアントソフトウェアのショートカットアイコンを作成できます

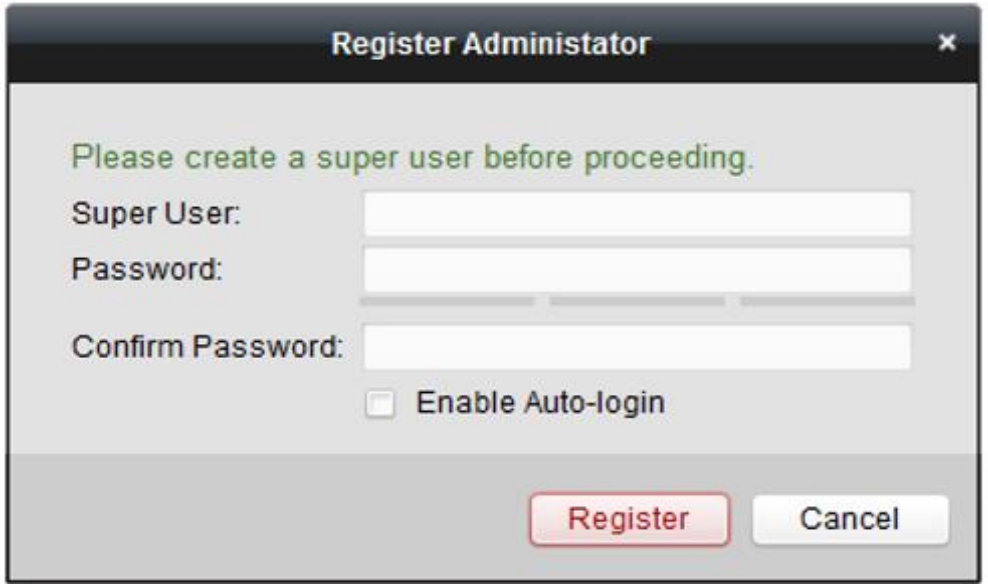
インストール事後情報を読み、[完了]ボタンをクリックします。



2. ユーザ登録

iVMS-4200 クライアントソフトウェアを最初に使う際には、ログイン用にスーパーユーザを登録する必要があります。

1. スーパーユーザ名とパスワードを入力します。ソフトウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。
   データセキュリティを向上させるために、強力なパスワードを使用するよう強くお勧めします。
2. パスワードを確認します。
3. オプションとして、[自動ログインを有効化する]チェック ボックスをチェックし、
   ソフト ウェアに自動ログインすることもできます。
4. [登録]ボタンをクリックします。これで、ソフトウェアにスーパーユーザとしてログインすることができます



3. コントロールパネル

この資料ではメインで使用する
4つの機能について説明します

1　デバイスマネージャー

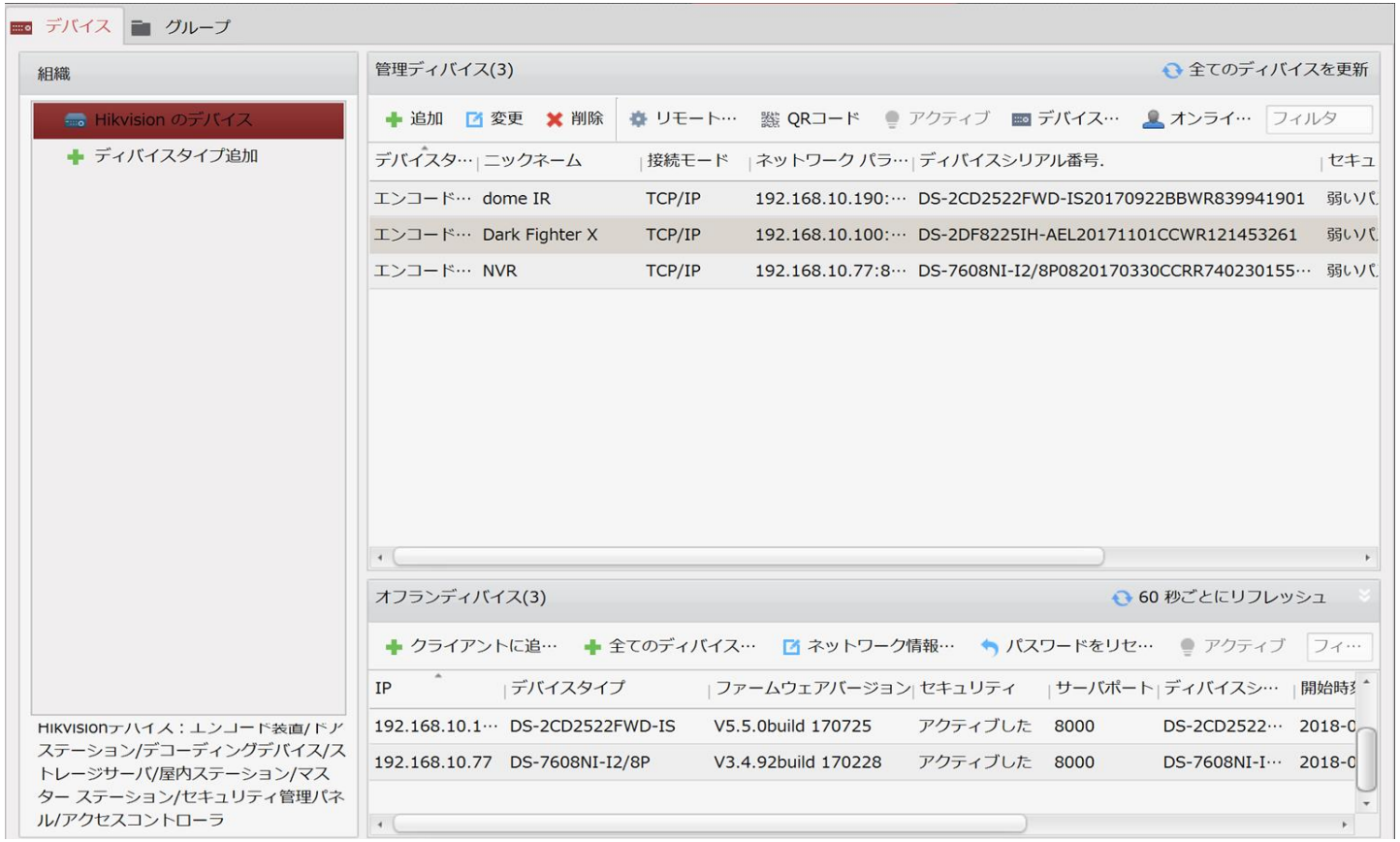
2　メインビュー

3　リモート再生

4　ストレージスケジュール

4. デバイスの追加

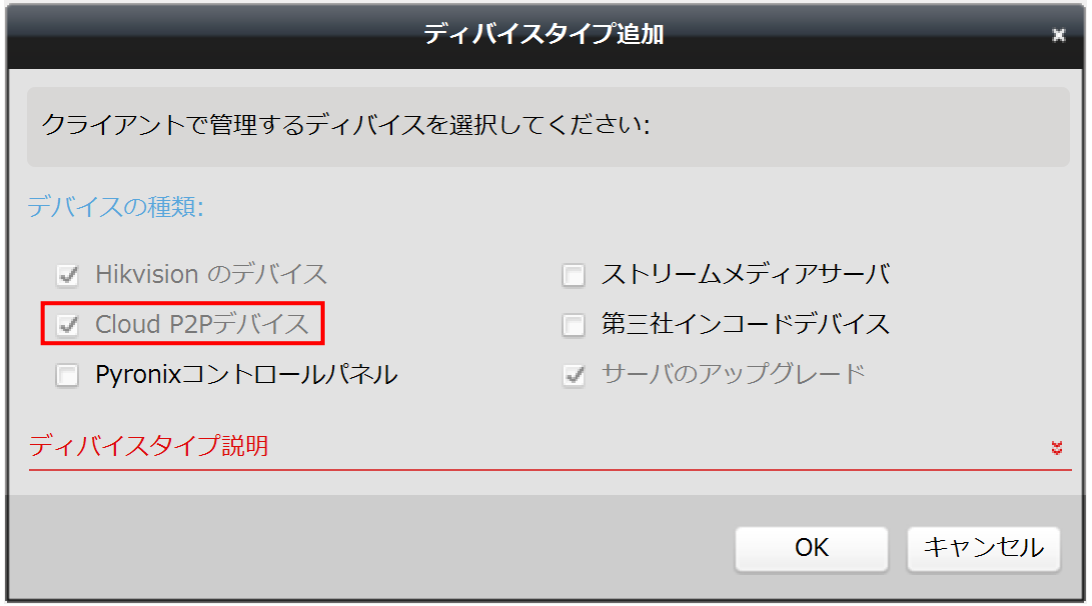
ネットワークカメラ、エンコーダ、デコーダ、DVR、NVR、セキュリティ コントロールパネル、ビデオインターコム バイスなどのデバイスは、クライアントに追加することでリモート設定やライブ ビュー、再生、アラーム設定などの管理を行うことができます。

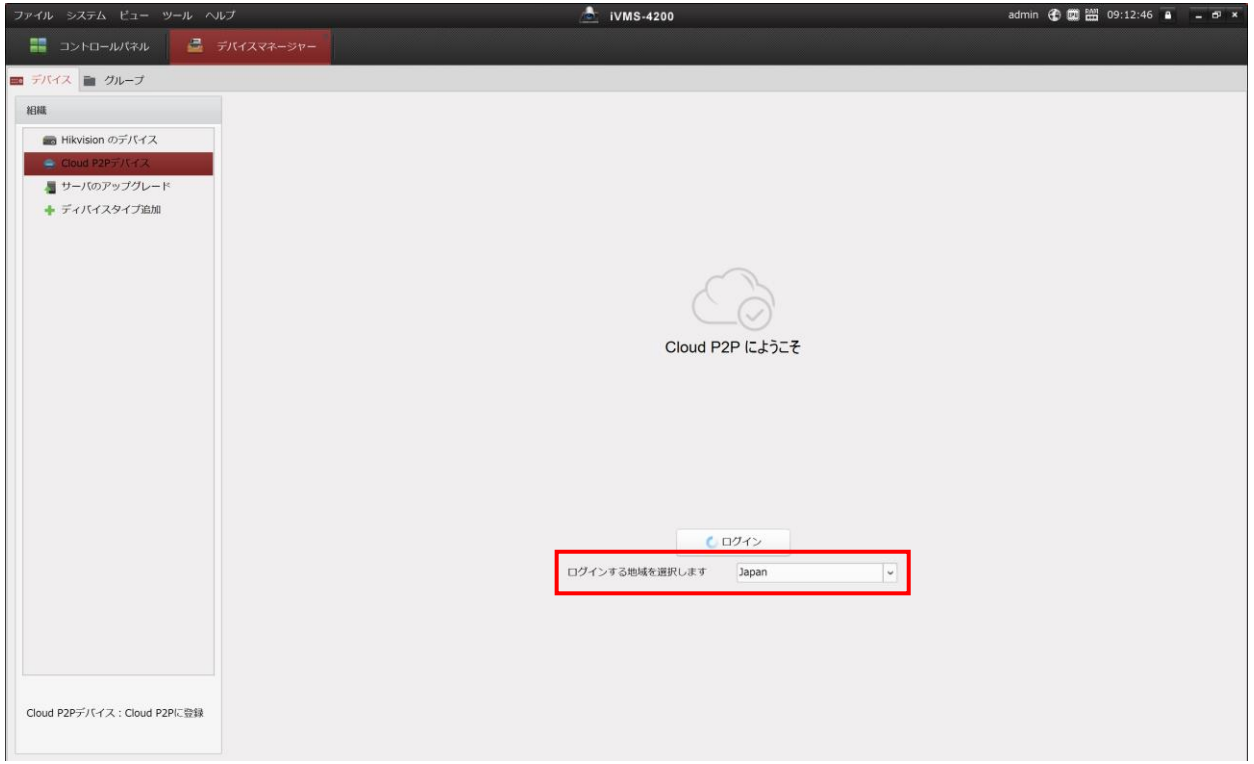


ドラッグ操作で
追加するデバイスを
選択できます。

P2Pアカウントの登録

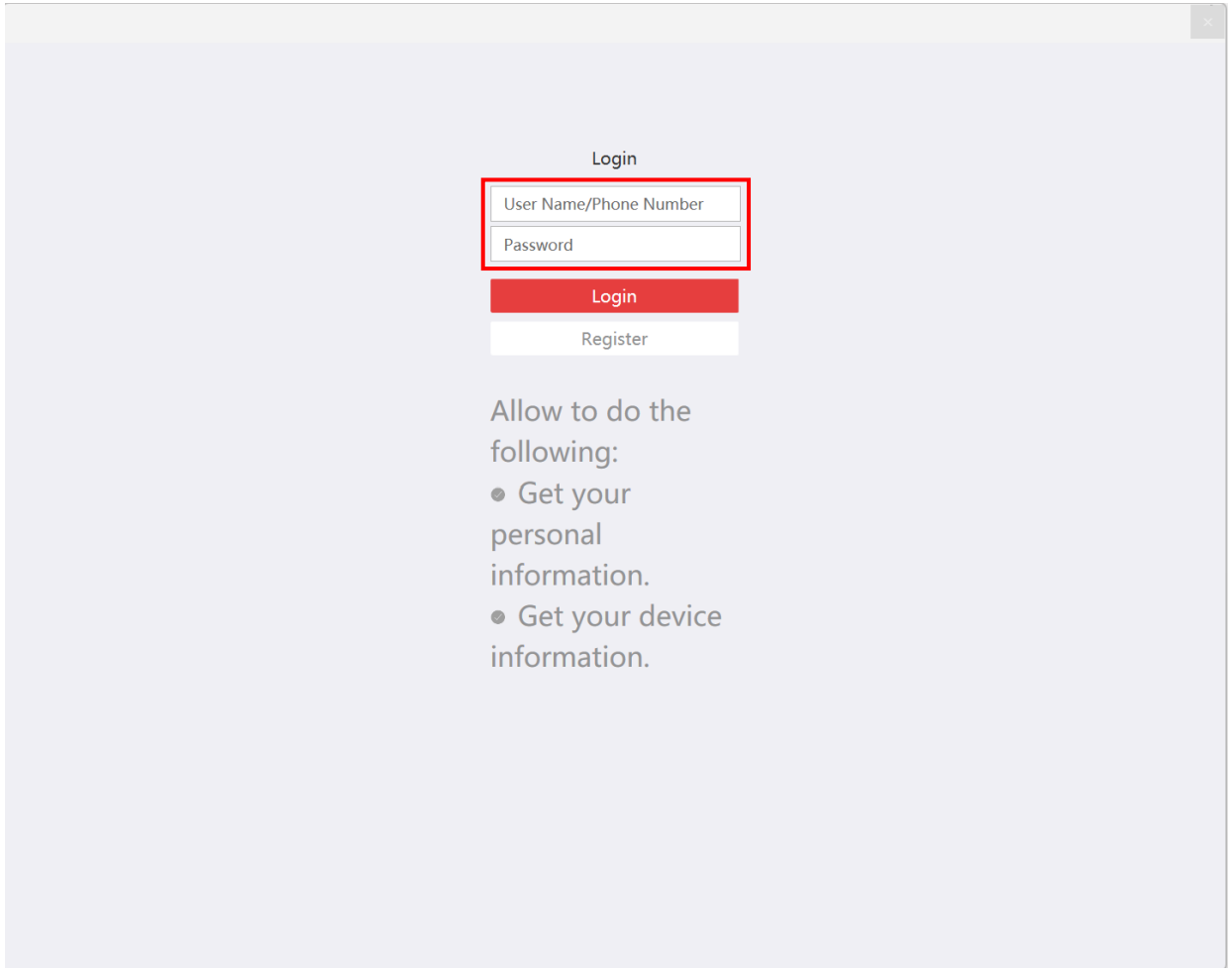
1.デバイスマネージャーを開き、ディバイスタイプの追加の中から”Cloud P2Pデバイス”にチェックをしOKをクリックします。
2.メニュー左側の組織内に”Cloud P2Pデバイス”が追加されるので、選択しログインする地域で”Japan”を選択します。





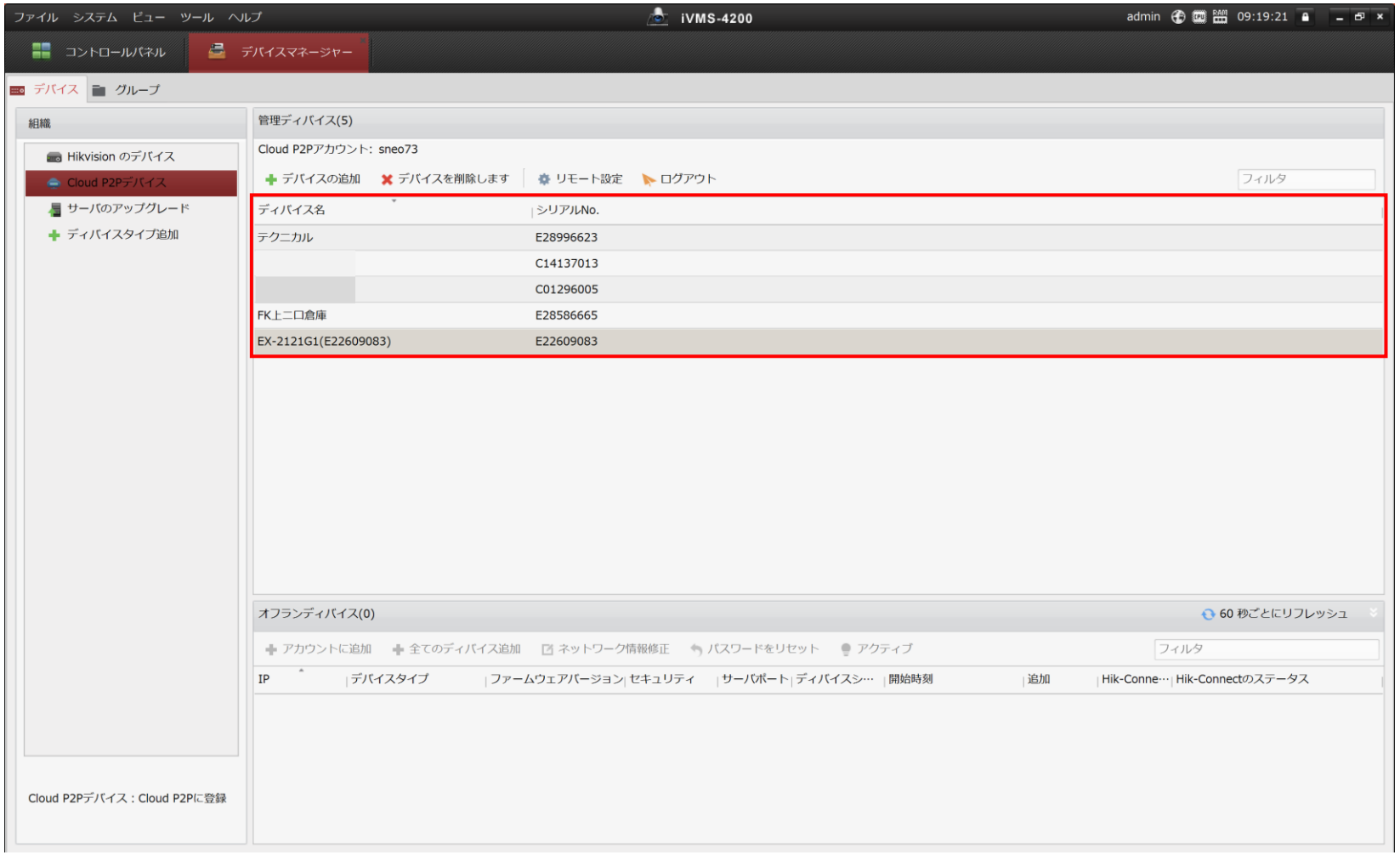
P2Pアカウントの登録

3.ログインをクリックすると、P2Pアカウントの入力画面が表示されるので、アカウントで登録したメールアドレスもしくは電話番号とパスワードを入力します。



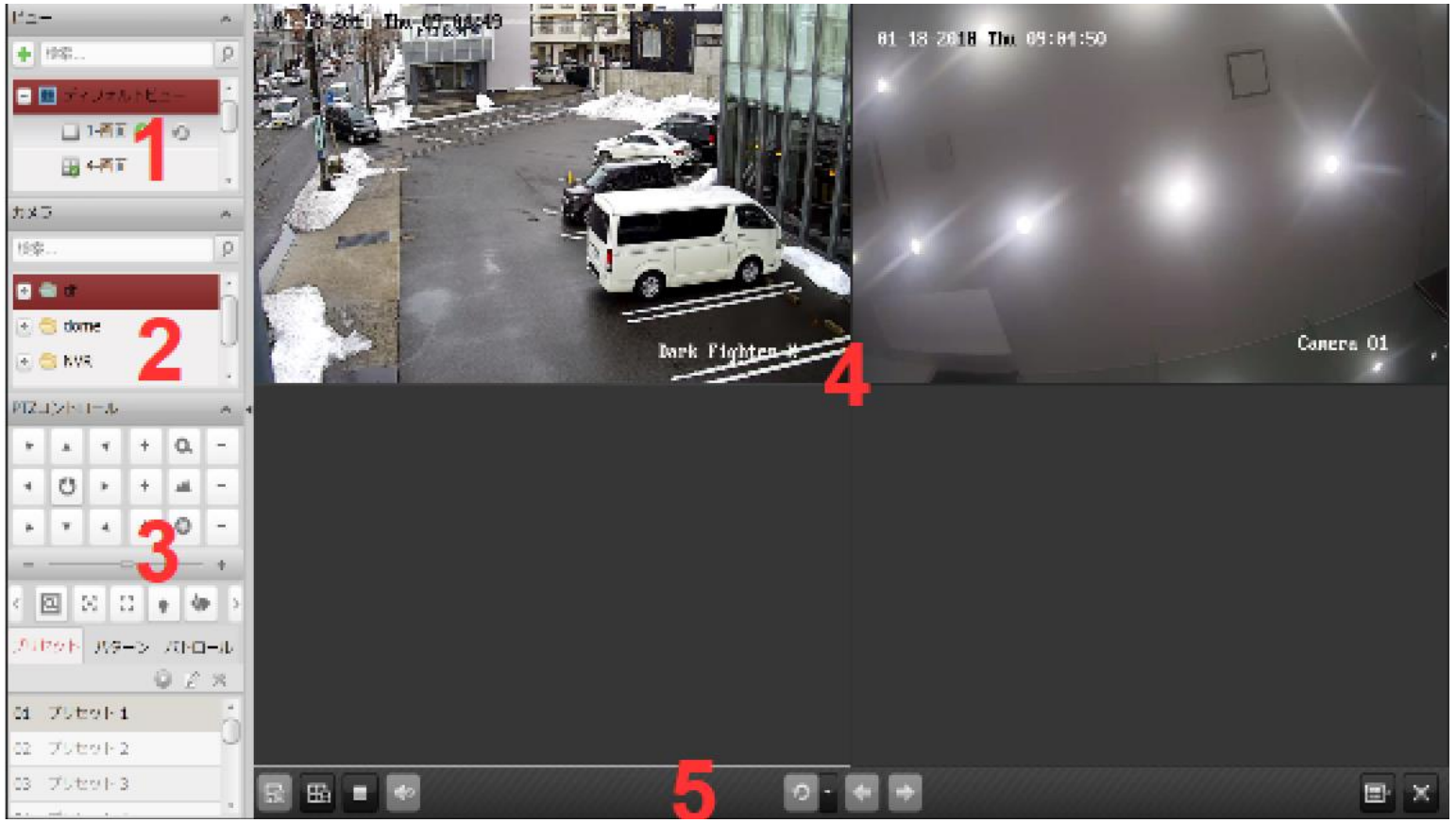
P2Pアカウントの登録

4.“Cloud P2Pデバイス”内にP2Pアカウントで登録した機器が表示されれば登録完了です。



5. ライブビュー

メインビューページで追加したカメラのライブ ビデオを確認できます。
画像のキャプチャや手動録画、PTZ 制御等の基本的な操作も一部サポートされています。



メインビューページ

1 ビューリスト

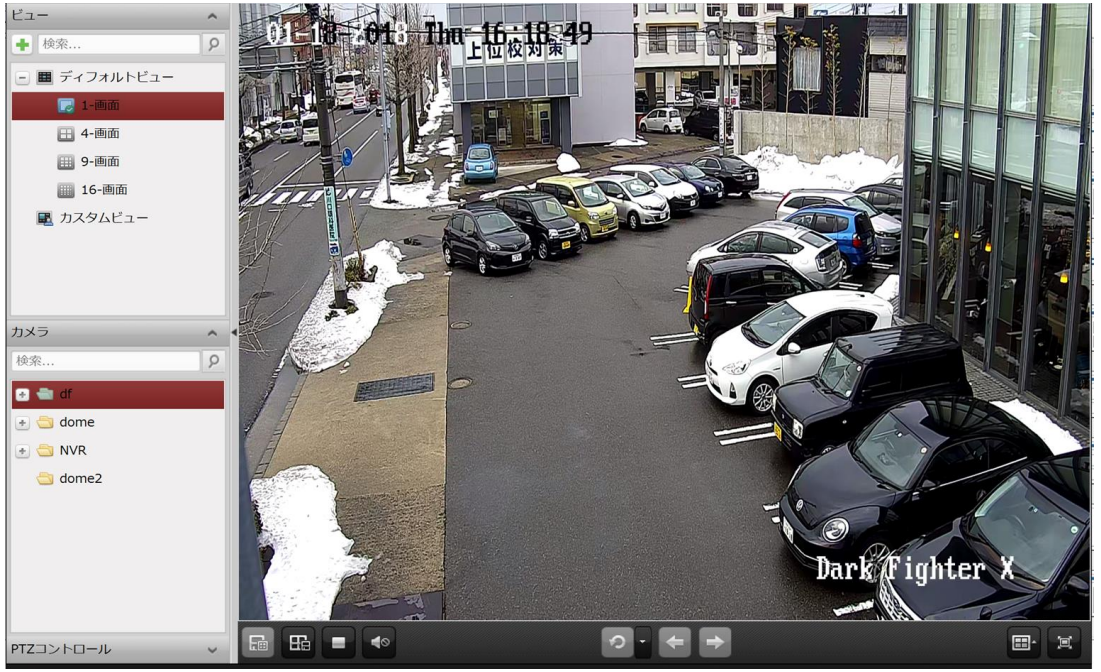
2 カメラリスト

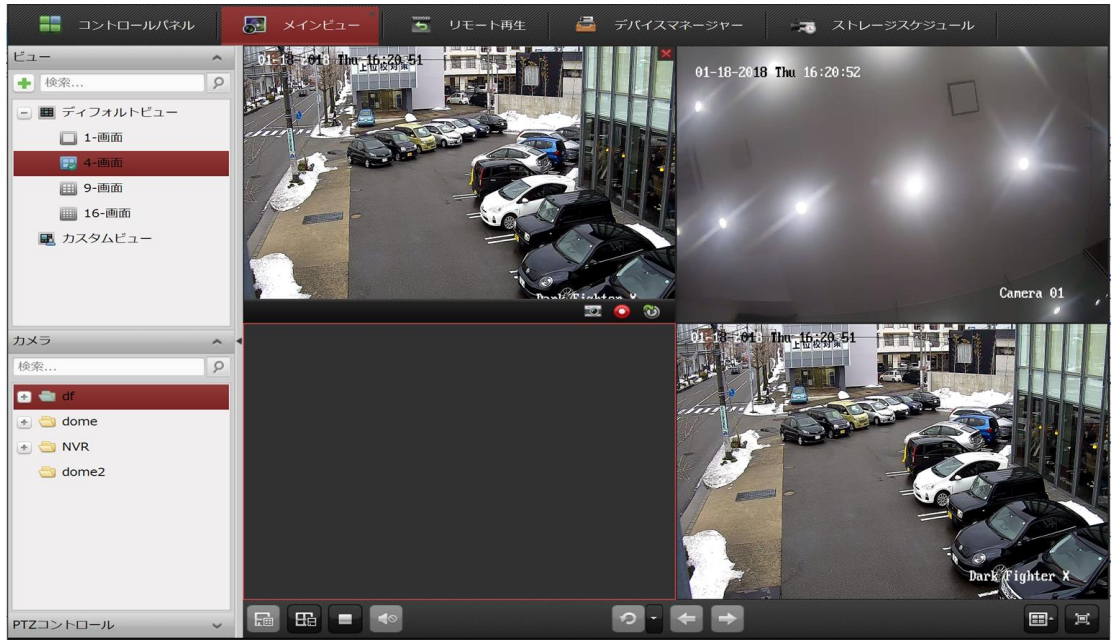
3 PTZコントロールパネル

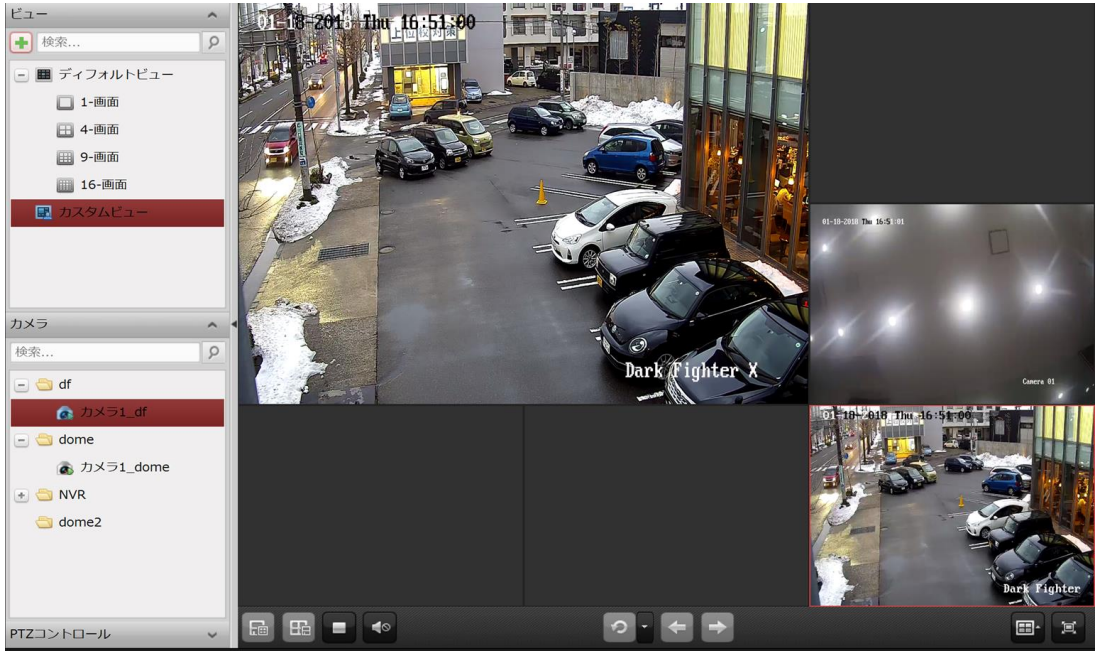
4 メインビューウィンドウの表示

5 メインビューツールバー

単一画面や、カスタマイズ可能な分割画面での
ライブビューも可能です。
最大16台までの同期再生が可能です。







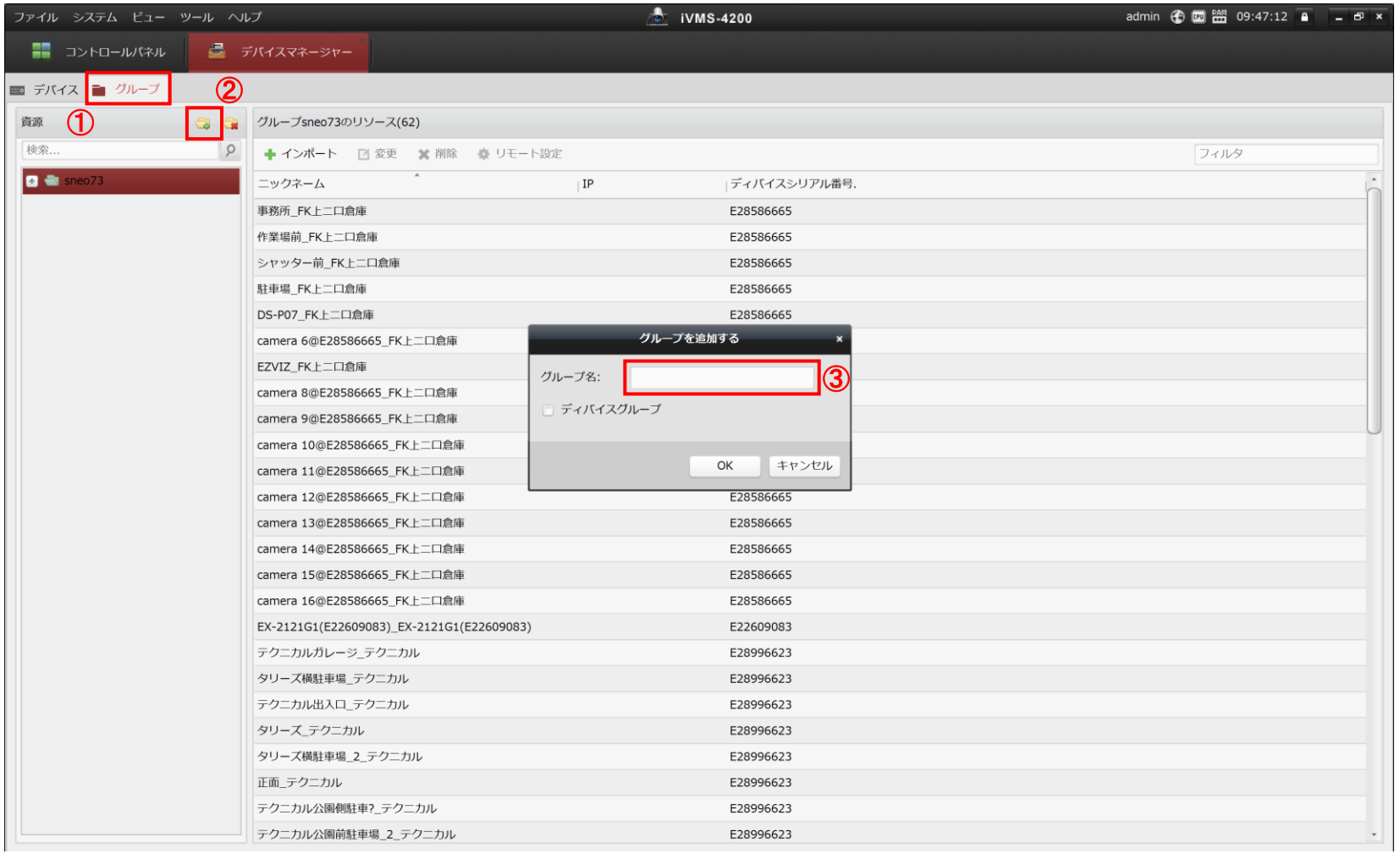
メインビューツールバー

メインビューページでは以下のツールバーボタンが使用できます

	ビューの保存	現在のビューの新しい設定を保存します。
	名前を付けてビューを保存	現在のビューを別の新しいビューとして保存します。
	ライブビューを停止	すべてのカメラのライブビューを停止します。
	ミュート／音声ビューの保存オン	ライブビューの音声のオン／オフを切り替えます。
	自動切り替えの再開／一時停止	クリックしてライブビューの自動切り替えを再開/一時停止します
	メニューの表示/非表示	自動切り替えの設定メニューの表示/非表示を切り替えます。 もう一度クリックすることで非表示にできます。
	前へ	前のページのライブビューに移動します。
	次へ	次のページのライブビューに移動します
	ウィンドウ分割	ウィンドウ分割を設定します。
	全画面	ライブビューを全画面モードで表示します。ESCを押して抜けることができます。

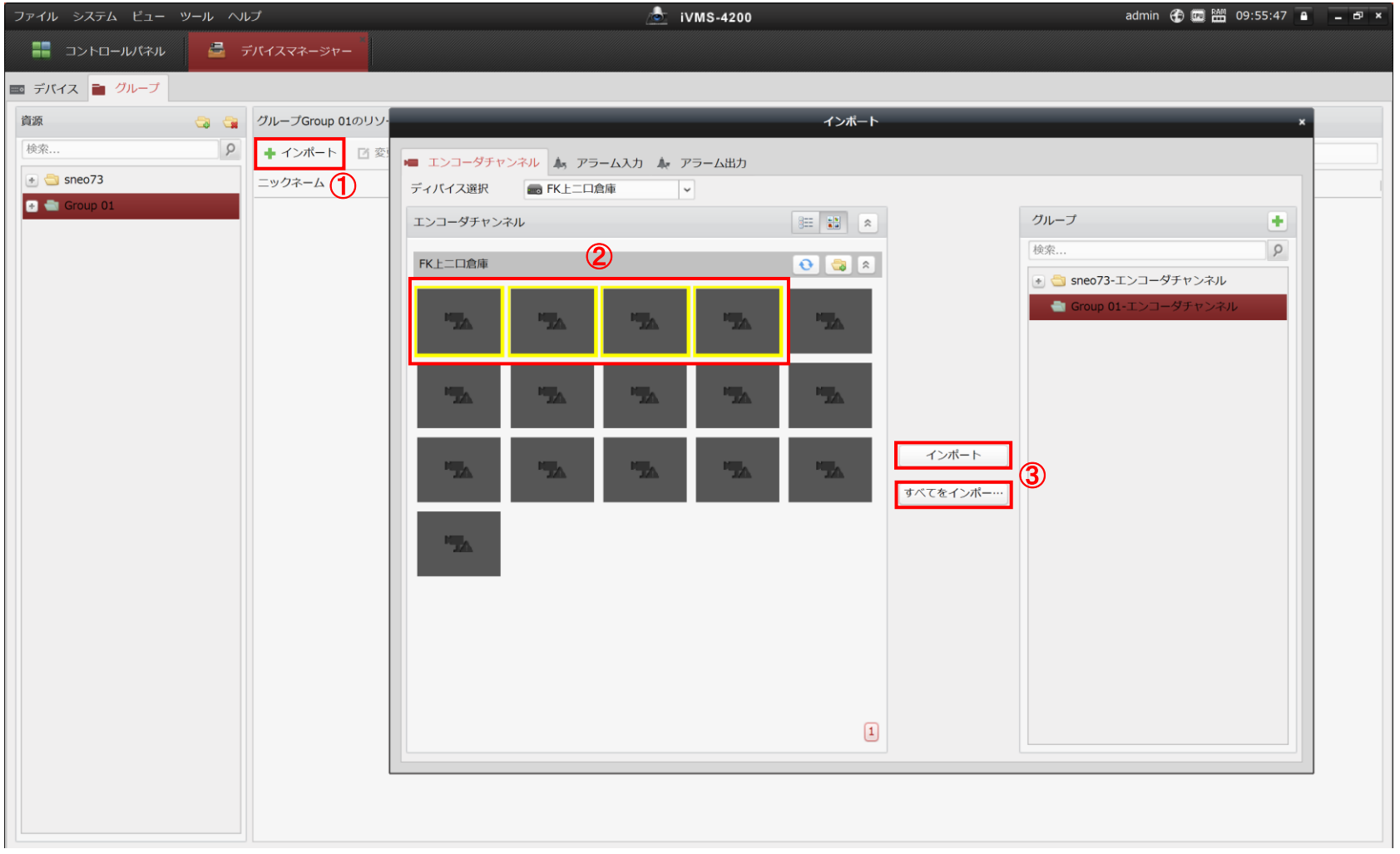
カメラグループの作成

1.デバイスマネージャー内で①”グループ”を選択し、②”グループを追加する”をクリックして③グループ名を入力します。



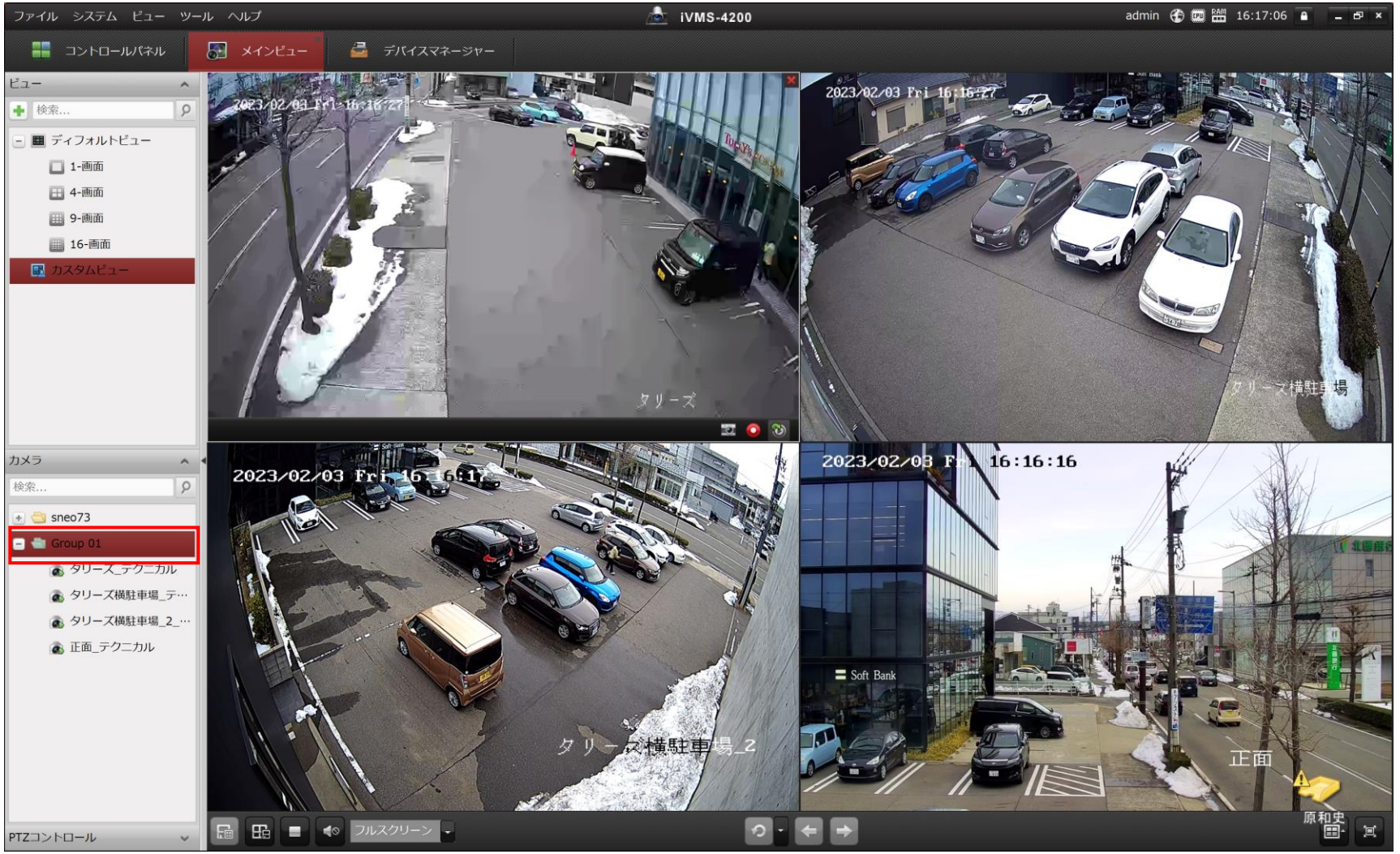
カメラグループの作成

2.追加されたグループ内で①”インポート”をクリックし、②グループ内に取り入れたいカメラを選択し③インポートします。レコーダー全てのカメラを取り入れたい場合は、すべてをインポートをクリックします。



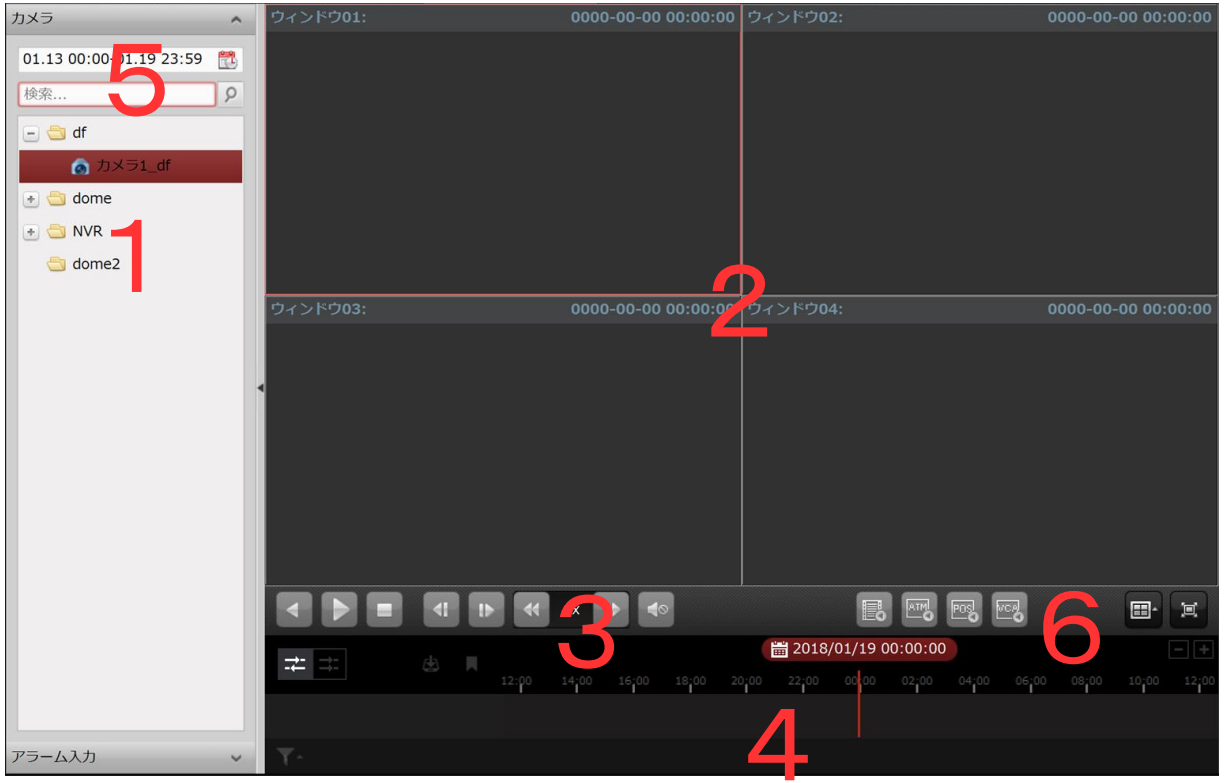
カメラグループの作成

3.メインビューで作成したカメラグループを選択し、ライブ表示されれば作成完了です。



6. リモート再生

ローカルデバイスまたはストレージサーバに保存されたビデオファイルまたはトリガーしたイベントによって検索でき、リモートから再生することができます。



リモート再生ページ

1 カメラリスト

2 再生ウィンドウの表示

3 再生操作ボタン

4 タイムライン

5 検索範囲

6 検索条件

再生ツールバー

通常再生では、以下のツールバーボタンが利用できます

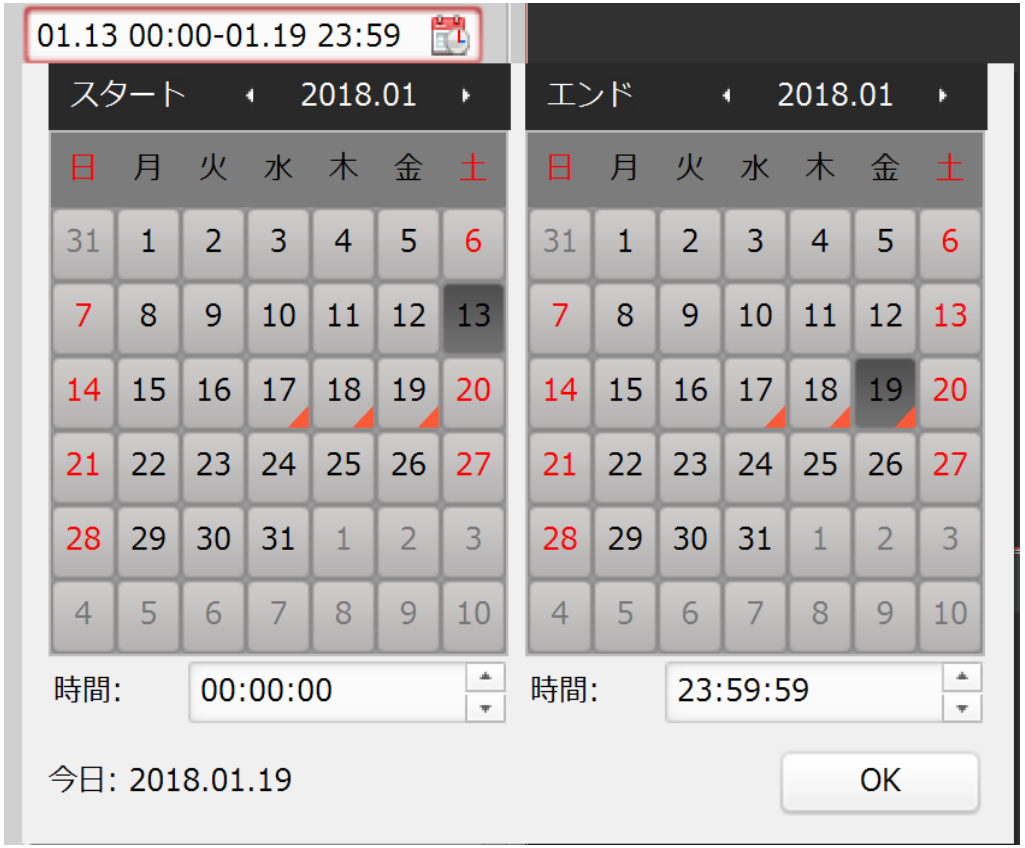
逆再生	ビデオファイルを逆方向に再生します。
再生の一時停止/再開	ビデオファイル再生を一時停止/再開します。
再生を停止	すべてのカメラの再生を停止します。
シングル フレーム (逆方向)	ビデオ ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生します。
スロー再生 / 高速再生	再生速度を遅く/速くします
音量	音声のオン/オフの切り替えおよび音量の調整を行います。
イベント再生	動体検知やビデオ損失などのイベントによってトリガーされた録画を検索します。
ATM 再生	ATMデバイスの録画を検索します。
VCA 再生	VCA検索、侵入および境界線横断を含むVCAイベントが発生したビデオファイルを検索し、VCA ルールを適 用します。
ウィンドウ分割	ウィンドウ分割を設定します。
全画面	ビデオ再生を全画面モードで表示します。ESC を押して抜けることができます。
非同期/同期再生	クリックしてビデオ ファイルを同期または非同期で再生します。
ダウンロード	カメラのビデオファイルをダウンロードします。ビデオファイルはPCに保存されます
タグ	ポイントをマークします。右クリックからタグ ポジションに移動す ることができます。
フィルタ	任意の録画種別を表示できます。

再生手順

1. リモート再生ページを開き再生したい日時を指定します。
2. 検索したいカメラをダブルクリックします。
   右側に検索結果が表示されます。
3. 再生したいフォルダを選択しダブルクリックします。

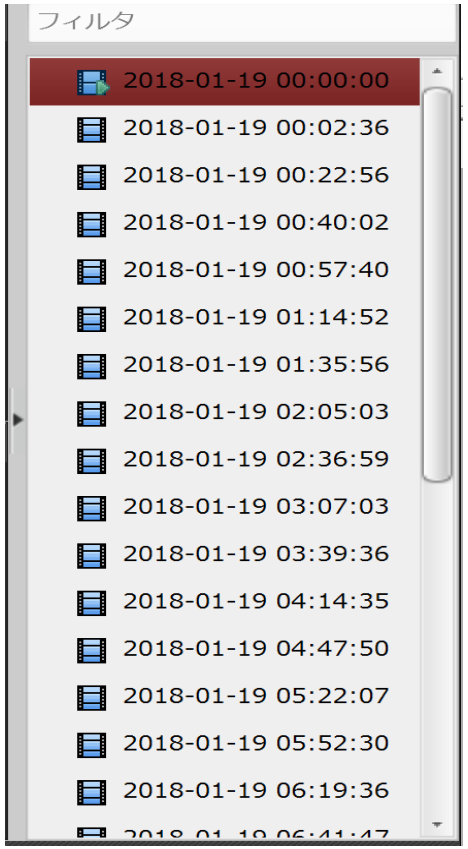
再生手順

1　リモート再生ページを開き、検索範囲から
　再生したい日時を指定します。



2　検索したいカメラをダブルクリックすると
　右側に検索結果が表示されます。

3　再生したいフォルダをダブルクリックします。



ビデオファイルの再生

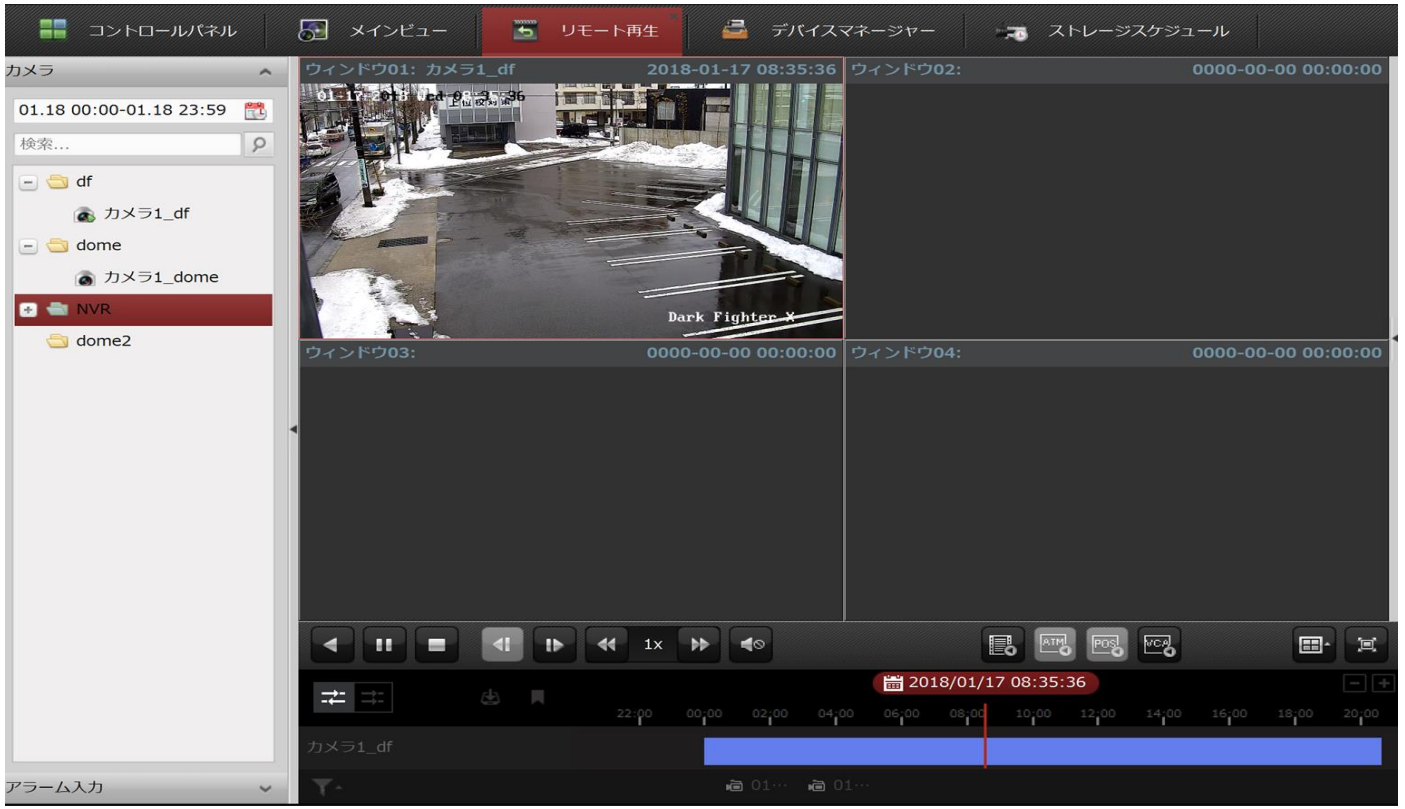
２つの方法でビデオファイルを再生すること ができます

【1】 ファイルリストによる再生

検索結果リストからビデオファイルを選択し、ビデオファイル上のアイコンをクリックするか、ビデオ ファイルをダブルクリックして再生表示ウィンドウにビデオを再生します。

または表示ウィンドウを選択し、ツールバー上のアイコンをクリックして対応するビデオファイルを再生します。

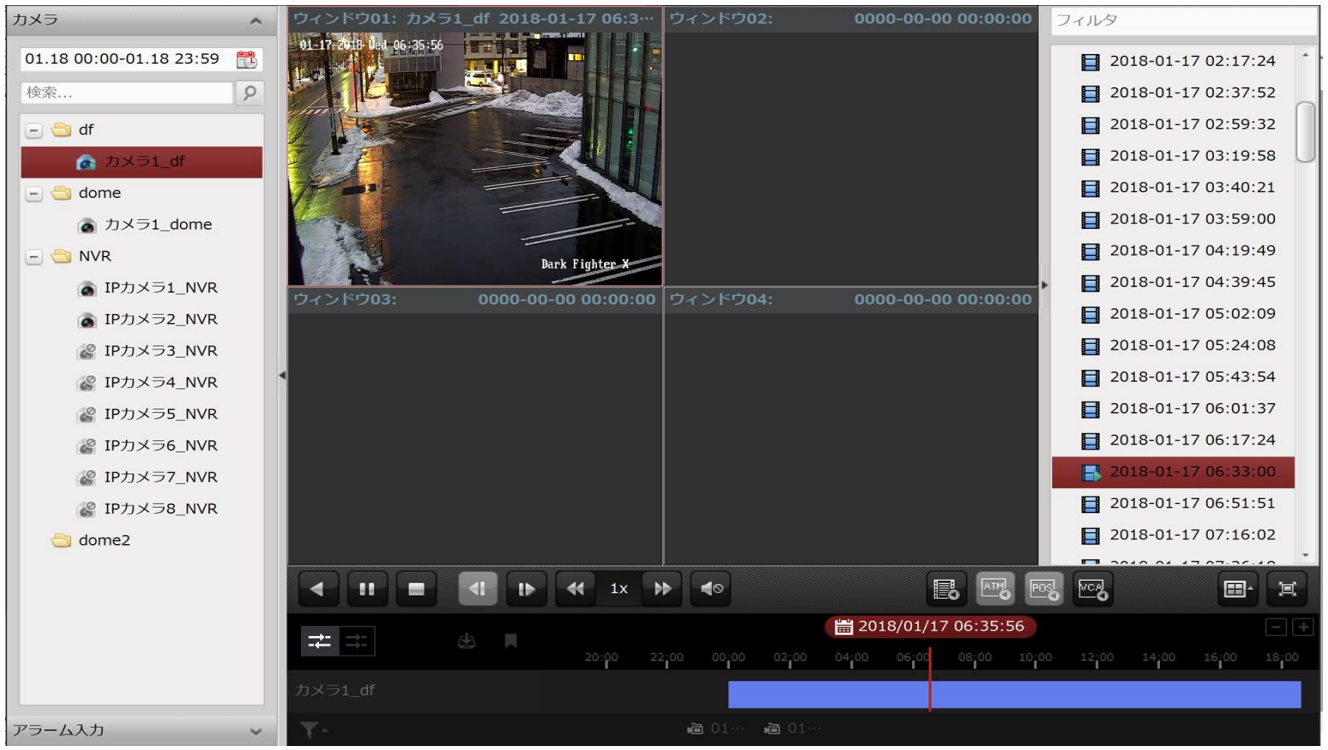
検索したデバイスから再生
が可能です



【2】 タイムラインによる再生

タイムラインはビデオファイルの再生時間を表しており、ビデオファイルの種別ごとに色分けされます。タイムラインをクリックすることでビデオファイルの特定の時間を再生することができます。

または をクリックして、タイムラインバーを拡大または縮小することができます。タイムラインバーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。マウスホイールを利用してタイムラインに対するズームインまたはズームアウトを行うことができます。



録画されている時間帯にドラッグすることで指定の時間からの再生が可能です

7. ストレージスケジュール

DVR、NVR、ネットワーク カメラなどの一部のデバイスは、ビデオファイル用の
HDD、Net HDD、SD/SDHC カードのようなストレージ デバイスを備えています。

始める前に：新たにインストールされたストレージデバイスはフォーマットする必要があります。
デバイス管理ページから、デバイスのリモート設定インターフェイスに入り、[ストレージ] -> [一般]
をクリックし、HDD をまたはSD/SDHC カードを選択します。
[フォーマット]をクリックし、選択したストレージデバイスを初期化します。

録画手順

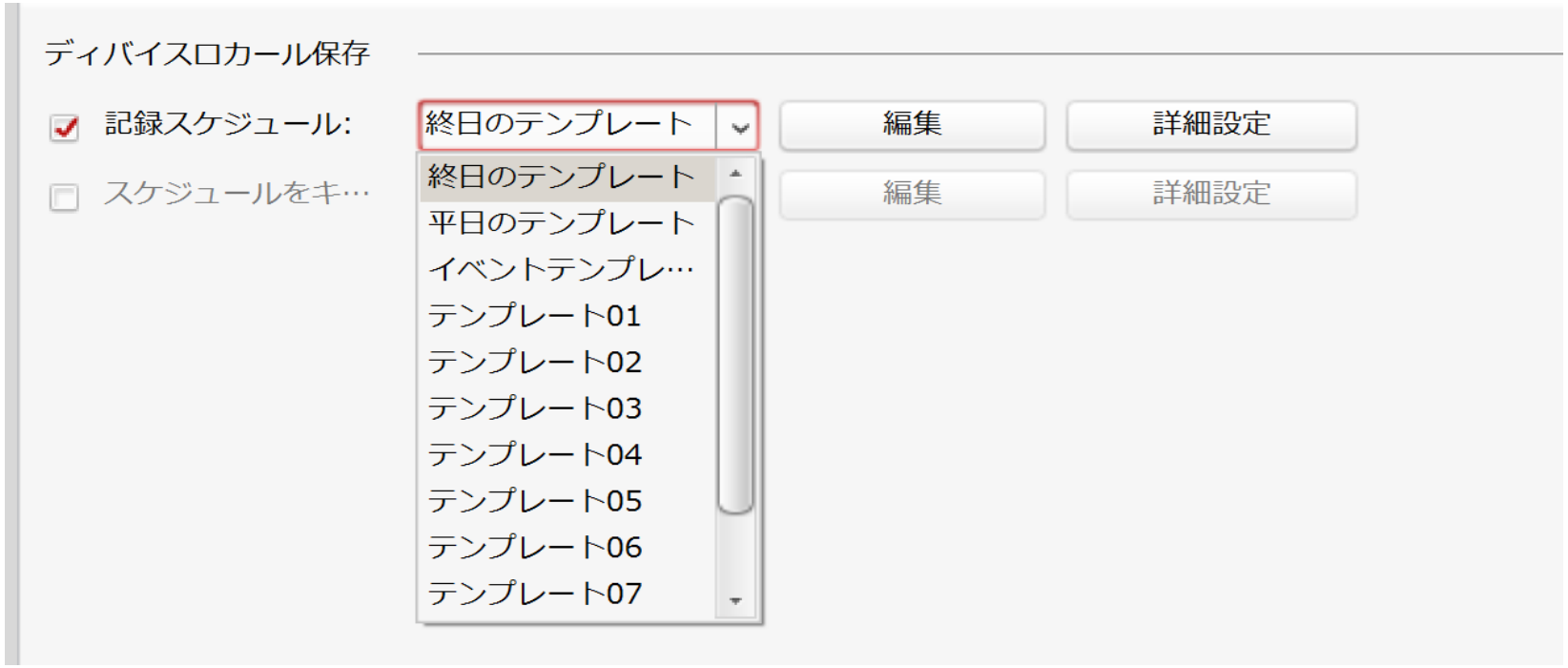
1. ストレージスケジュールページを開きます。
2. カメラ グループリストからカメラを選択します。
3. [録画スケジュール]チェック ボックスをチェックして、デバイスのローカル録画を有効化 します。
4. ドロップダウンリストから、録画スケジュールテンプレートを選択します。
   全日テンプレート:すべての日を通じて継続的に録画するためのものです。
   平日テンプレート:日勤帯時間、午前 8 時から午後 8 時まで継続的に録画するためのもの です。
   イベントテンプレート:イベントトリガー録画のためのものです。
   テンプレート 01～08:特定のスケジュールのための固定テンプレートです。必要に応じて
   テンプレートを編集できます。
   カスタム:自由にカスタマイズすることができます。テンプレートを編集またはカスタマイズする
   必要がある場合は、録画スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
5. [詳細設定]をクリックして、録画パラメータを設定します。
6. オプションとして、[コピー先…]をクリックし、録画スケジュールを他のカメラにコピーできます。
7. [保存]ボタンをクリックし、設定を保存します

録画手順

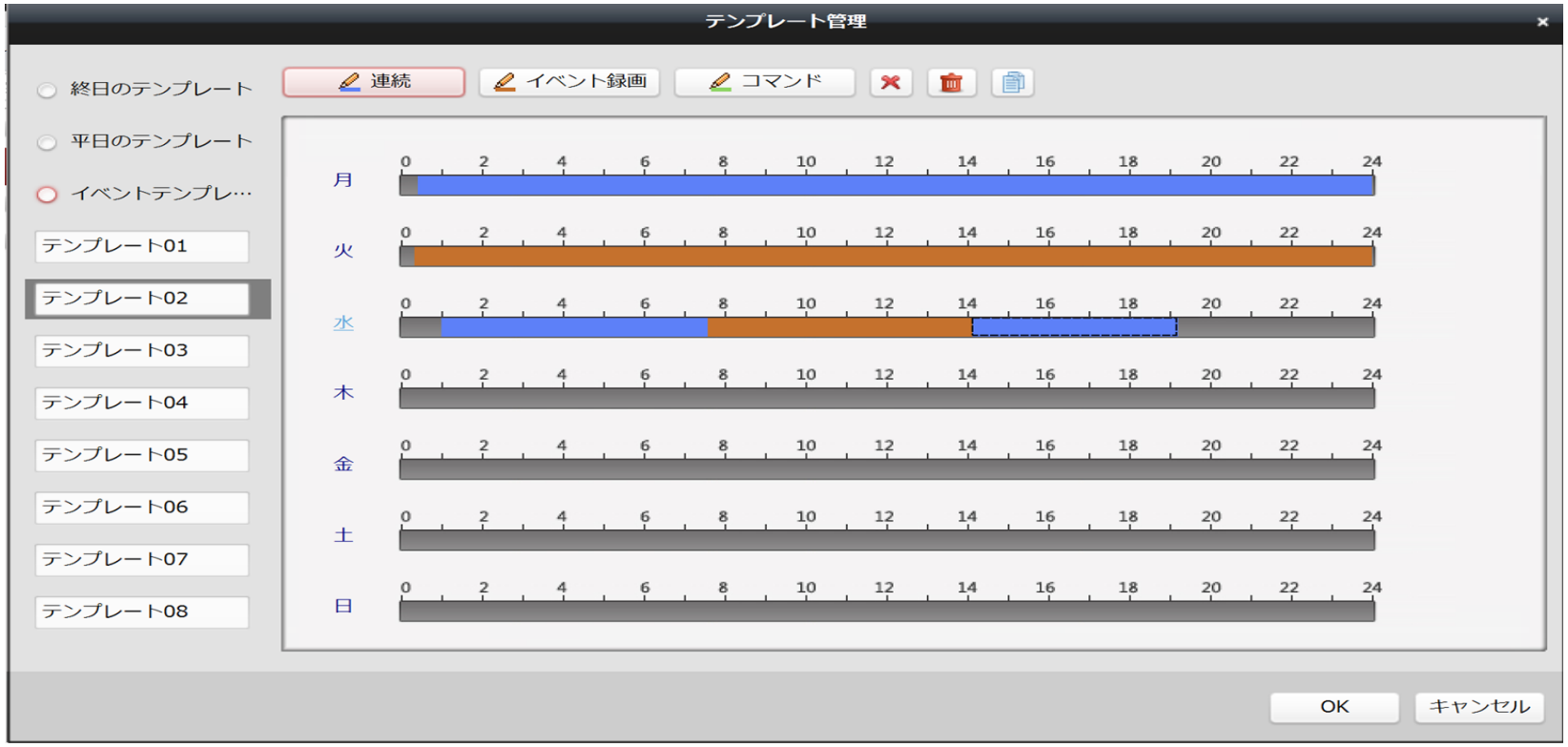
1. ストレージスケジュールページを開きます。
2. カメラ グループリストからカメラを選択します。
3. [録画スケジュール]チェック ボックスをチェックして、デバイスのローカル録画を有効化 します。

4. ドロップダウンリストから、録画スケジュールテンプレートを選択します。

終日テンプレート:すべての日を通じて継続的に録画するためのものです。
平日テンプレート:日勤帯時間、午前 8 時から午後 8 時まで継続的に録画するためのもの です。
イベントテンプレート:イベントトリガー録画のためのものです。
テンプレート 01～08:特定のスケジュールのための固定テンプレートです。必要に応じて
テンプレートを編集できます。
カスタム:自由にカスタマイズすることができます。



5.[詳細設定]をクリックして、録画パラメータを設定します。



[編集]をクリックし、テンプレート管理インターフェイスに入ります。
選択したテンプレートに対して時間スケジュールを設定します

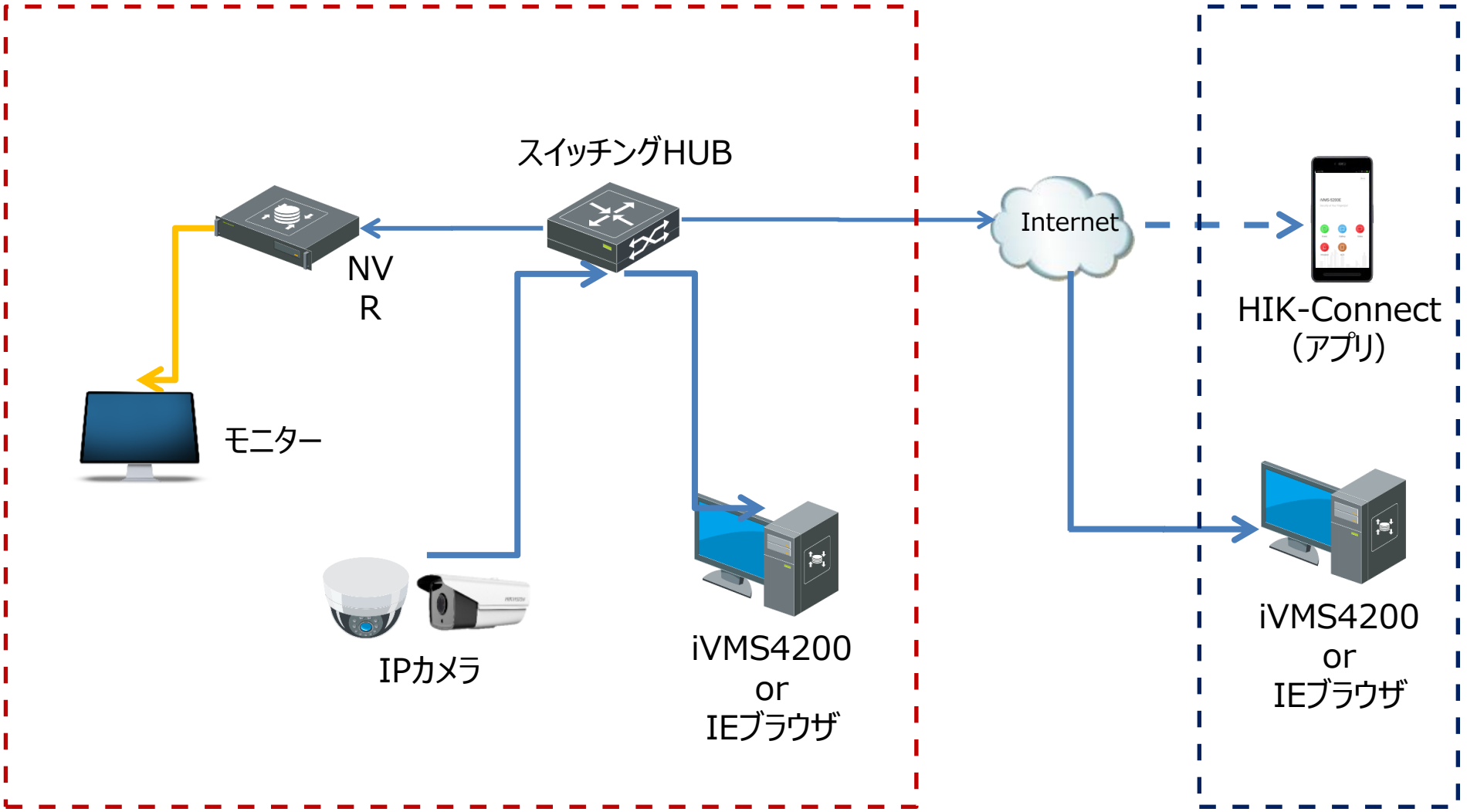
Schedule Recording は通常のスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは ■ でマークされます。

Event Recording はイベントによってトリガーされるスケジュール録画を表します。
スケジュール タイム バーは ■ でマークされます。

6. オプションとして、[コピー先…]をクリックし、録画スケジュールを他のカメラにコピーできます。

7. [保存]ボタンをクリックし、設定を保存します

8. システム構成


スイッチングHUB
NV
R
モニター
IPカメラ
iVMS4200
or
IEブラウザ
Internet
HIK-Connect
(アプリ)
iVMS4200
or
IEブラウザ

9. システム要件

オペレーティング システム:Microsoft Windows 7 / Windows 8.1 /
Windows 10（32ビットまたは64ビット）、
Microsoft Windows XP SP3（32ビット）、
Microsoft Windows 2008 R2 / Windows Server 2012（64ビット）

CPU:Intel Pentium IV 3.0 GHz またはそれ以上

メモリ:2G またはそれ以上

ビデオカード:RADEON X 700 シリーズまたはそれ以上

GPU:256MB またはそれ以上